

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	海上交通低炭素化促進事業		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	海事局		担当課室	内航課		課長 蝦名 邦晴
会計区分	一般会計		上位政策	地域公共交通の維持・活性化を推進する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海上交通低炭素化促進事業費補助金交付要綱 (平成22年2月23日)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船舶による輸送は他の輸送モードに比べ環境対応が遅れており、先進的な省エネ化の取組みを支援することで、フェリー等の海上交通の低炭素化を促進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>「明日の安心と成長のための緊急経済対策」平成21年12月8日閣議決定としての平成21年度第2次補正予算により、船舶の高度な低炭素化に資する設備導入等に対する補助(補助率1/2)を行う。</p> <p>① 低炭素化改造等事業(省エネ化に資する機器の設置、船舶改造・改良等)</p> <p>② 低炭素型中古船舶代替事業(現在使っている船舶と比べ、省エネ化の認められるものに限る。新船建造は支援対象外。)</p>					
実施状況	平成21年度第2次補正予算(繰越明許費)により、明許繰越承認申請を行い全額繰越承認されている。 平成22年度執行中  (交付決定状況 2,349百万円(①354隻、②4隻) 平成22年5月末日現在)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	5,005	-	-
	執行額	-	-	-	/	/
	執行率	-	-	0.0%	/	/
	総事業費(執行ベース)	-	-	-	/	/
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	補助金交付にあたっては、補助金交付要綱に従って申請書を提出させ、本省及び各地方運輸局等職員が補助対象事業の適切性・妥当性等について確認している。また、公募締め切り時には、ホームページ等において執行状況を公表している。				
	見直しの余地	本事業の目的を効率的、効果的に達成するため、補助金の交付にあたっては、実際の運航データを収集させ申請時の燃料消費等低減効果の達成状況を確認することにより、補助事業の適切な執行を行うこととしている。さらに、平成22年度の執行状況を踏まえ必要な見直しを行う。				
予算監視の効率化	【一部改善】 本事業は、平成22年度に繰越され執行中であるが、今後、政策目的に照らして事業効果が十分に見込めるか効果検証を行い、必要な見直しを図るべき。					
補記	<p>【予算科目】</p> <p>060 地域公共交通維持・活性化推進費</p> <p>95 地域公共交通の維持・活性化の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)</p> <p>95063 - 2405 - 16 海上交通低炭素化促進事業費補助金 5,005 百万円 - 百万円</p>					

※平成22年度予算へ全額繰越

国土交通省

〔低炭素化改造等事業、低炭素型中古船舶代替事業について補助〕



【補助金】

船舶運航事業者等  
(交付決定 2,349百万円)

〔船舶の高度な低炭素化に資する設備を導入等〕

※平成22年度5月末現在 執行中

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0